

2021年度第3四半期 決算説明会

2022年2月1日
株式会社村田製作所



当第3四半期決算説明会のトピックス



- 当第3四半期の売上高は、直前四半期比+0.6%の4,714億円。高周波モジュールやコネクティビティモジュールがスマートフォン向けで増加したことに加えて、バッテリーがパワーツール向けで増加
- 当第3四半期の営業利益は、直前四半期比▲2.7%の1,139億円。合理化の推進による原価低減などもあり、高い営業利益率を維持
- 四半期ベースで、売上高は過去最高を更新。9ヶ月累計ベースでは、売上高と営業利益は過去最高を更新。

当第3四半期の売上高は、直前四半期比で微増となり、営業利益は直前四半期比で若干の減収となりました。但し、第2四半期と同様に、高い営業利益率を維持できています。
四半期ベースでは、売上高は過去最高を更新し、9ヶ月累計ベースでは売上高と営業利益ともに過去最高を更新しています。

当第3四半期決算説明会のトピックス

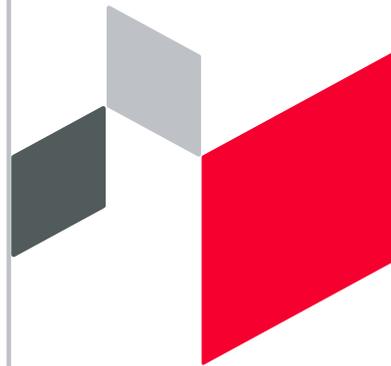


- 通期業績は、売上高1兆7,700億円（前期比+8.6%）、営業利益4,100億円（前期比+30.9%）を予想。売上高・営業利益ともに過去最高の更新を見込む。
- 当第4四半期は将来の需要に備えて在庫を積み増す計画。
- 期末配当を従来予想比5円増配(1株あたり60円⇒65円)

当第4四半期は今後の需要に備えて在庫を積み増す計画となっています。第3四半期までの9ヶ月累計と第4四半期の売上高や生産高を想定し、通期業績を売上高と営業利益ともに上方修正しており、通期過去最高を更新する予定です。それに伴い、期末配当は従来予想比5円増配を計画しています。

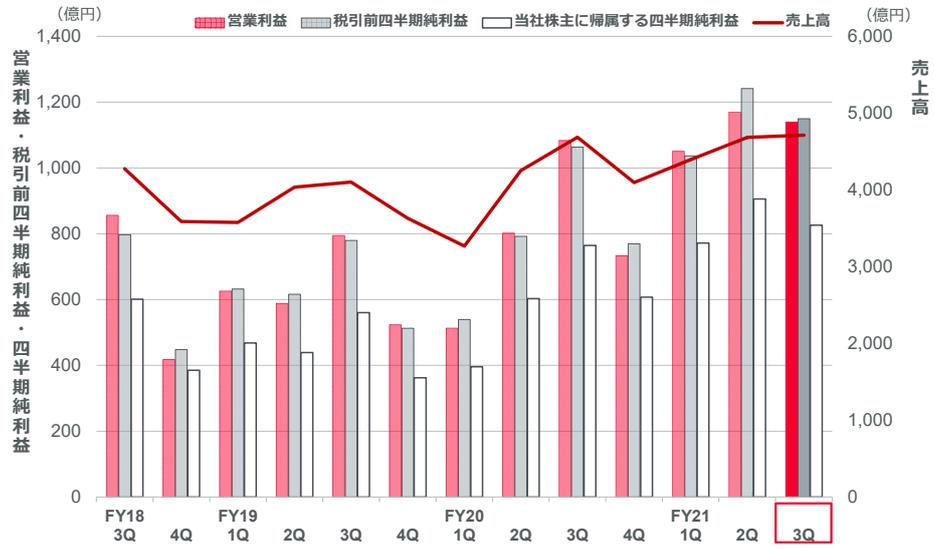
2021年度第3四半期 業績概要

2021年10月～2021年12月
第3四半期連結会計期間



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

業績推移 (四半期)



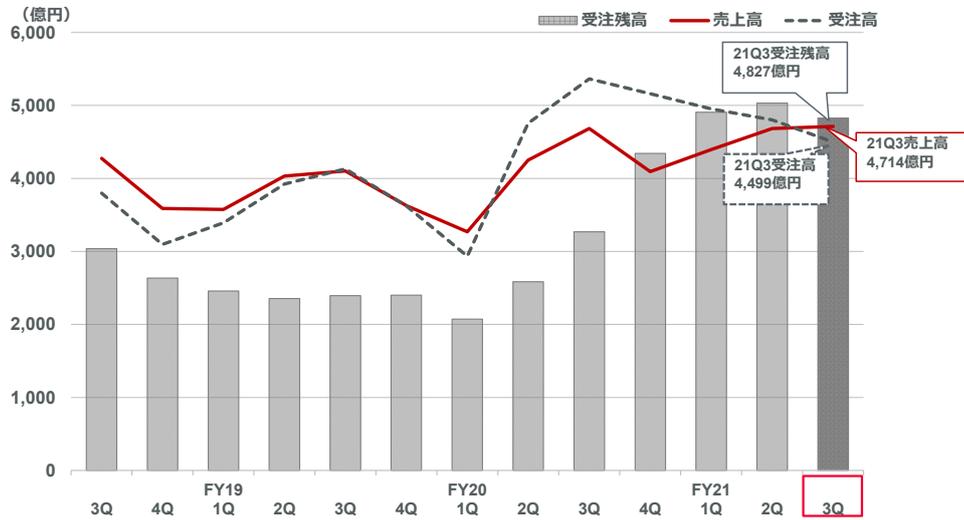
	2020年度 第3四半期		2021年度 第2四半期		2021年度 第3四半期		前年同期比 21Q3/20Q3		直前四半期比 21Q3/21Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	4,686	100.0	4,685	100.0	4,714	100.0	+27	+0.6	+29	+0.6
営業利益	1,084	23.1	1,170	25.0	1,139	24.2	+55	+5.1	▲31	▲2.7
税引前当期純利益	1,063	22.7	1,241	26.5	1,150	24.4	+87	+8.2	▲91	▲7.4
当社株主に帰属する 当期純利益	765	16.3	906	19.3	826	17.5	+62	+8.1	▲79	▲8.7
為替 (円/USD)	104.51		110.11		113.71					

- 売上高は、直前四半期比で、樹脂多層基板や表面波フィルタがスマートフォン向けで減少したものの、高周波モジュールやコネクティビティモジュールがスマートフォン向けで増加したことに加えて、バッテリーがパワーツール向けで増加したことなどにより増収。
- 営業利益は、直前四半期比で、合理化の推進や円安効果といった増収要因はあったものの、固定費の増加や製品ミックスの変化により減益。

当第3四半期の売上高は、前年同期比、直前四半期比ともにプラス0.6%で、営業利益は、前年同期比プラス5.1%、直前四半期比マイナス2.7%となりました。

売上・受注・注残推移（四半期）

- ・ 前四半期比で受注高は減少したものの、依然として高水準の受注が継続。
- ・ 顧客による部品在庫積み増しの動きが一巡したことで、想定通りBBレシオは1を下回り、注残は減少。
- ・ 第4四半期は、季節性により受注は減少する見込み。



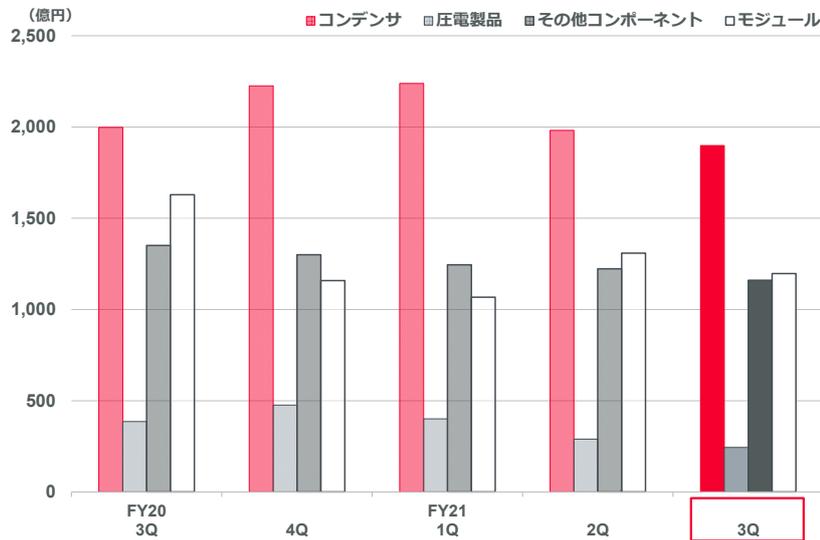
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

7

当第3四半期の売上高は直前四半期と同水準を維持していますが、受注高は直前四半期比で減少しています。その結果、当第3四半期のBBレシオは0.95になっています。但し、当第2四半期で受注残高は過去最高を更新しており、過去の推移と比べると高い水準の受注残高を維持しています。

製品別受注高推移

前四半期(2Q)比では、コンデンサがカーエレクトロニクス向けやPC向けで減少。
また、スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板が減少。



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

8

コンデンサは当第1四半期以降、減少傾向です。その他の製品は、当第3四半期が季節的に減少する期間ということもあり、少し減少しています。

	2020年度 第3四半期		2021年度 第2四半期		2021年度 第3四半期		前年同期比 21Q3/20Q3		直前四半期比 21Q3/21Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	1,673	35.7	2,024	43.3	2,006	42.6	+334	+19.9	▲18	▲0.9
圧電製品	320	6.8	376	8.0	334	7.1	+14	+4.5	▲41	▲11.0
その他コンポーネント	1,070	22.9	1,210	25.9	1,212	25.8	+143	+13.3	+3	+0.2
モジュール	1,618	34.6	1,069	22.8	1,152	24.5	▲465	▲28.8	+83	+7.8
製品売上高計	4,680	100.0	4,678	100.0	4,705	100.0	+25	+0.5	+27	+0.6

前年同期比で大きく増加したのは、コンデンサとその他コンポーネントです。その他コンポーネントでは、インダクタやリチウムイオン二次電池の売上高が伸びています。一方、モジュールは前年同期比で減少しています。

コンデンサ (直前四半期比▲0.9%)	▲積層セラミックコンデンサ (MLCC) 代理店向けや基地局向けで増加したが、カーエレクトロニクス向けやAV機器向け、スマートフォン向けなどで減少
圧電製品 (直前四半期比▲11.0%)	▲表面波フィルタ スマートフォン向けで減少
その他コンポーネント (直前四半期比+0.2%)	○リチウムイオン二次電池 パワーツール向けで増加 ▲インダクタ スマートフォン向けで減少
モジュール (直前四半期比+7.8%)	○高周波モジュール・コネクティビティモジュール スマートフォン向けで増加 ▲樹脂多層基板 スマートフォン向けで減少

圧電製品が中華圏スマートフォン向けの取り込みが遅れていることもあり、直前四半期比で減少しています。

一方、モジュールがハイエンドスマートフォン向けの取り込み時期であり、直前四半期比で増加しています。

コンデンサとその他コンポーネントは大きな変動はありませんが、その他コンポーネントの内訳としては、リチウムイオン二次電池が直前四半期比増加、インダクタが直前四半期比減少となっています。

用途別売上高

	2020年度 第3四半期		2021年度 第2四半期		2021年度 第3四半期		前年同期比 21Q3/20Q3		直前四半期比 21Q3/21Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	184	4.0	206	4.4	166	3.5	▲18	▲10.0	▲41	▲19.7
通信	2,477	52.9	2,071	44.3	2,104	44.7	▲373	▲15.1	+33	+1.6
コンピュータ及び関連機器	745	15.9	931	19.9	925	19.7	+180	+24.1	▲6	▲0.6
カーエレクトロニクス	800	17.1	821	17.6	803	17.1	+3	+0.3	▲18	▲2.2
家電・その他	473	10.1	649	13.9	708	15.0	+235	+49.6	+59	+9.1
製品売上高計	4,680	100.0	4,678	100.0	4,705	100.0	+25	+0.5	+27	+0.6

(注) 当社推計値に基づいております

コンピュータ及び関連機器や家電・その他が前年同期比で大きく増加しています。
 家電・その他の内訳としては、コンデンサの代理店向けの売上やパワーツール向けの
 リチウムイオン二次電池などの売上高が大きく増加しています。
 一方、AVや通信は前年同期比で減少しています。

用途別売上高概況 [2021年度第2四半期→2021年度第3四半期]

AV (直前四半期比▲19.7%)	▲ゲーム機向けでコンデンサやリチウムイオン二次電池が減少
通信 (直前四半期比+1.6%)	○ハイエンドスマートフォン向けで高周波モジュールやコネクティブティモジュールが増加 ○基地局向けでコンデンサが増加 ▲スマートフォン向けで樹脂多層基板や表面波フィルタが減少
コンピュータ及び関連機器 (直前四半期比▲0.6%)	▲PC向けでコンデンサが減少
カーエレクトロニクス (直前四半期比▲2.2%)	▲顧客による部品在庫積み増しの動きが一巡したことにより、コンデンサが減少
家電・その他 (直前四半期比+9.1%)	○パワーツール向けでリチウムイオン二次電池が増加 ○代理店向けでコンデンサの売上が増加。

(注) 当社推計値に基づいております

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

12

AVは、サプライチェーン上の制約もあり、ゲーム機向けで直前四半期比減少しています。

家電・その他は、パワーツール向けでリチウムイオン二次電池や代理店向けでコンデンサが大きく増加しています。

その他、カーエレクトロニクスは、当上半期に顧客による部品取り込みが旺盛であったのに対し、当第3四半期は取り込みが落ち着き、実需に近い取り込みになっていると考えます。

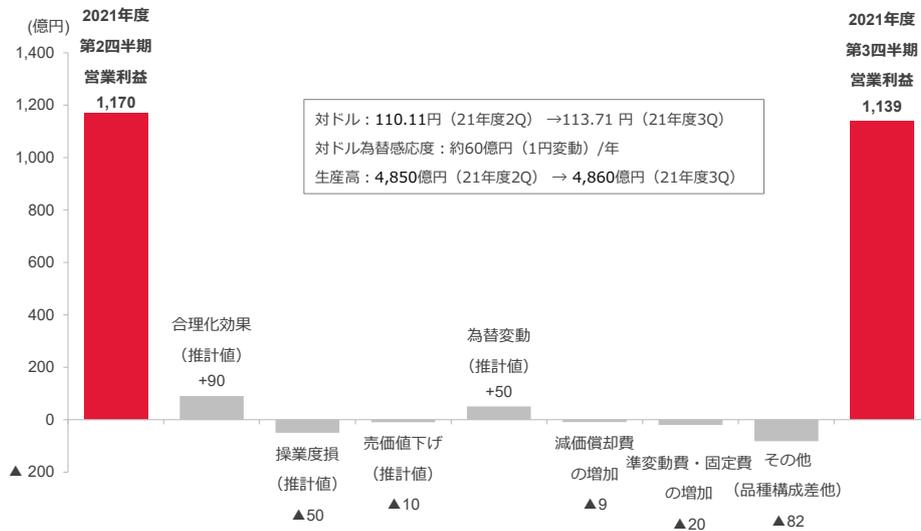
セグメント情報

		2020年度 9か月累計		2021年度 9か月累計		増減	
		(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンポーネント	売上高	8,614	100.0	10,801	100.0	+2,187	+25.4
	事業利益	2,295	26.6	3,538	32.8	+1,243	+54.2
モジュール	売上高	3,825	100.0	3,219	100.0	▲605	▲15.8
	事業利益	547	14.3	306	9.5	▲241	▲44.0
その他	売上高	463	100.0	459	100.0	▲5	▲1.0
	事業利益	59	12.7	56	12.2	▲3	▲4.3
消去又は本社部門	売上高	▲696	-	▲685	-	+11	-
	本社部門費	▲501	-	▲540	-	▲39	-
連結	売上高	12,207	100.0	13,795	100.0	+1,588	+13.0
	営業利益	2,399	19.7	3,360	24.4	+961	+40.1

- ・ **コンポーネント** コンデンサやインダクタの売上が増加したことにより増収増益
- ・ **モジュール** コネクティビティモジュールや樹脂多層基板の売上が減少したほか、製品ミックスの変化もあり、減収減益

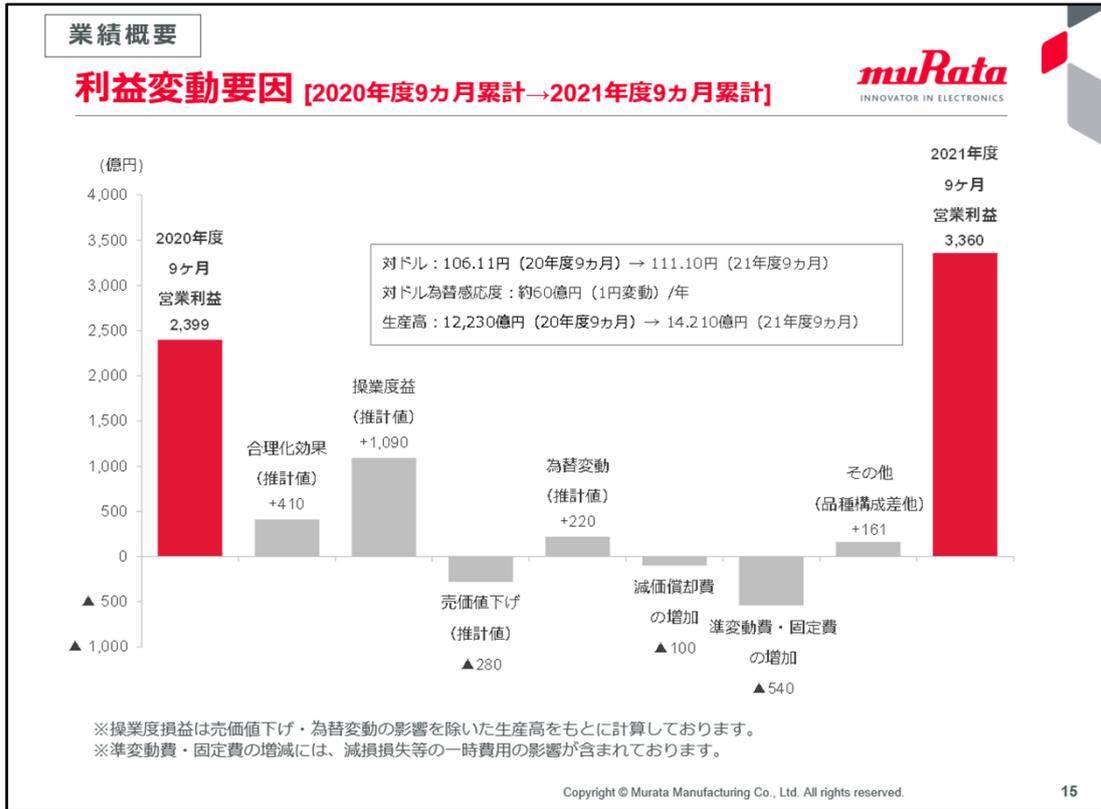
コンポーネントは、コンデンサやインダクタの売上高の増加に伴い、事業利益が大きく増加しています。
モジュールは、売上高の減少に伴い、事業利益が減少しています。

利益変動要因 [2021年度第2四半期→2021年度第3四半期]



※操作度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※標準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

当第3四半期の売上高と生産高はともに高水準なレベルを維持しています。
 当第3四半期の営業利益は、直前四半期比微減ですが、高い水準を確保できています。



生産高は売上高以上に増加しており、操業度益が大きく出ています。
その他の増益要因は、為替変動、円安の影響です。準変動費・固定費は、生産高の増加に伴い、減益要因ですが、全体としては前年同期比で大きくなっています。

キャッシュフロー

	2020年度 9か月累計 (億円)	2021年度 9か月累計 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	1,977	3,117	+1,140
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,253	▲ 1,164	+89
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 313	▲ 774	▲ 461
為替変動による影響	▲ 24	30	+54
現金及び同等物残高	3,411	5,287	+1,876
フリーキャッシュフロー	724	1,954	+1,230
固定資産の取得	▲ 1,422	▲ 1,152	+270
減価償却費	1,056	1,156	+100

- 前年同期比で大幅な増益となることから、営業キャッシュフローは増加。
- 投資活動によるキャッシュフローにおいて、Eta Wireless社買収による支出が発生。
- フリーキャッシュフローを原資に、配当の増額を計画。

営業活動によるキャッシュフローは、棚卸高の増加はありましたが、当期純利益が大きく増加したことで、前年同期比で増加しています。

それに伴い、フリーキャッシュフローや現金及び同等物残高が増加しています。これを踏まえて、配当の増額を計画しています。

投資活動によるキャッシュフローは、Eta Wireless社の買収による支出が含まれていません。

2021年度 業績予想
(2021年4月～2022年3月)



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

部品需要予測

(部品取り込みベース)

	2020年度 実績	2021年度 前回予想(7月)	2021年度 今回予想(1月)	増減	
				前年度比	前回予想比
スマートフォン	14.5 億台	14.8 億台	13.4 億台	▲7%	▲9%
PC	4.7 億台	4.7 億台	4.8 億台	+3%	+1%
デスクトップ	0.7 億台	0.7 億台	0.7 億台	横這い	+4%
ノートブック	2.1 億台	2.1 億台	2.2 億台	+2%	+2%
タブレット	1.8 億台	1.9 億台	1.9 億台	+4%	横這い
自動車	7,600 万台	8,400 万台	7,400 万台	▲3%	▲12%

(注) 自動車は生産台数ベース

- スマートフォン** 半導体不足の影響や中華圏スマートフォンメーカーの在庫調整の長期化の影響を加味し、台数前提を前年度比▲7%に変更
- PC** リモートワークやオンライン教育を背景に需要の増加が継続していることから同比+3%に変更
- 自動車** 半導体不足の長期化や新型コロナウイルスの感染再拡大等による減産の影響を加味し、台数前提を同比▲3%に変更。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

18

当第2四半期の決算説明会のときに、スマートフォンや自動車向けで、7月時想定からセット台数が落ちる可能性があるとお話していましたが、今回予想で実際にセット台数を修正しています。

スマートフォンは13.4億台で前年度比マイナス7%、PCは4.8億台で前年度比プラス3%、自動車は1,000万台下方修正し、前年度比マイナス3%を想定しています。

製品別売上予想

	前回予想(7月)	今回予想(1月)	
	2021年度 通期予想 (前年度比)	2021年度 通期予想 (前年度比)	2021年度 第4四半期予想 (前四半期比)
コンデンサ	+20%程度	+22%程度	▲14%程度
圧電製品	+2%程度	+6%程度	▲18%程度
その他コンポーネント	+16%程度	+18%程度	▲14%程度
モジュール	▲19%程度	▲16%程度	▲26%程度
製品売上高計	+6%	+9%	▲17%

7月時予想との比較で、各製品で少しずつ上方修正しています。

用途別売上予想

	前回予想(7月)		今回予想(1月)	
	2021年度 通期予想 (前年度比)	2021年度 通期予想 (前年度比)	2021年度 通期予想 (前年度比)	2021年度 第4四半期予想 (前四半期比)
AV	+4%程度	横這い	横這い	▲3%程度
通信	▲4%程度	▲5%程度	▲5%程度	▲21%程度
コンピュータ及び関連機器	+9%程度	+18%程度	+18%程度	▲24%程度
カーエレクトロニクス	+21%程度	+16%程度	+16%程度	▲10%程度
家電・その他	+23%程度	+42%程度	+42%程度	▲6%程度
製品売上高計	+6%	+9%	+9%	▲17%

(注) 当社推計値に基づいております

7月時予想との比較で、コンピュータ及び関連機器と家電・その他は増加しており、AVとカーエレクトロニクスは減少しています。

2021年度 業績予想

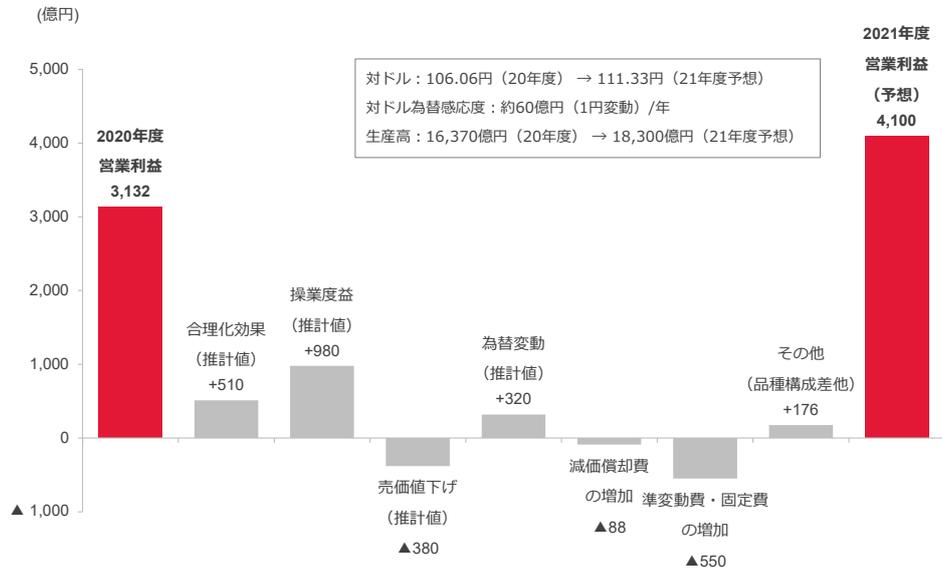
	2020年度 実績		前回予想(21年7月)		2021年度 通期予想	今回予想(22年1月)				2021年度 通期予想	
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)		(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	16,302	100.0	9,020	8,280	17,300	9,081	100.0	8,619	100.0	17,700	100.0
営業利益	3,132	19.2	2,040	1,610	3,650	2,221	24.5	1,879	21.8	4,100	23.2
税引前当期純利益	3,164	19.4	2,050	1,620	3,670	2,279	25.1	1,881	21.8	4,160	23.5
当社株主に帰属する当期純利益	2,371	14.5	1,520	1,190	2,710	1,678	18.5	1,342	15.6	3,020	17.1
ROIC(税引前)	18.5		20.4							22.5	
為替(円/USD)	106.06		109.13			109.80		112.86		111.33	

※ ROIC(税引前) = 営業利益 / 投下資本(固定資産+棚卸資産+売上債権-仕入債務)

- 前回予想比では、PC関連需要の継続や代理店向けなどの売上が増加したことに加え、為替前提を見直したことから、通期売上高を上方修正。
- 通期営業利益は、生産高増加に伴う操業度益の発生や円安効果などにより上方修正、過去最高の更新を予想。

売上高は7月時予想比400億円の増加、営業利益は7月時予想比450億円の増加です。ROIC(税引前)は、22.5%を計画しています。

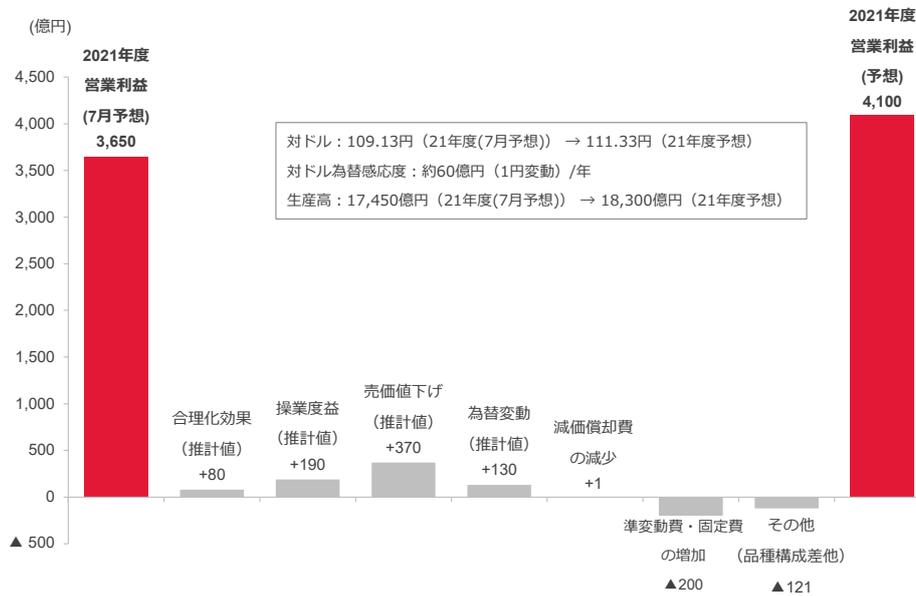
利益変動要因 [2020年度通期実績→2021年度通期予想]



※操業度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

9ヶ月累計とほぼ同様な動きになっています。

利益変動要因 [2021年度通期予想(7月)→2021年度通期予想]



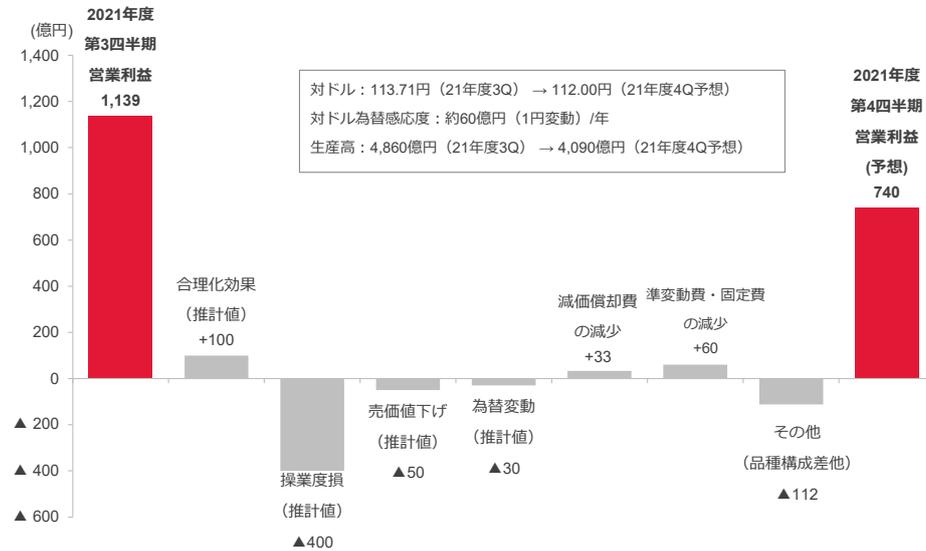
※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※標準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

23

7月時予想比で売上高の増加以上に生産高の増加を想定しており、操業度益が出ています。売値下げが緩やかに進んでいることや為替変動による要因もあり、全体で7月時予想比で450億円の増加を予想しています。

利益変動要因 [2021年度第3四半期→2021年度第4四半期予想]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

24

当第4四半期はさらに在庫を積み上げる計画です。直前四半期比で操業度損が出る想定ですが、その他は大きな変動はないと考えています。

業績予想の前提

	2021年度 上期実績	2021年度 下期予想	2021年度 通期予想
減価償却費	760 億円	760 億円	1,520 億円
研究開発費	543 億円	557 億円	1,100 億円
設備投資額	746 億円	754 億円	1,500 億円
為替レート(USD)	109.80 円/USD	112.86 円/USD	111.33 円/USD
為替レート(EUR)	130.89 円/EUR	129.04 円/EUR	129.97 円/EUR

【参考 対ドル為替感応度】売上：約110億円（1円変動/年） 営業利益：約60億円（1円変動/年）

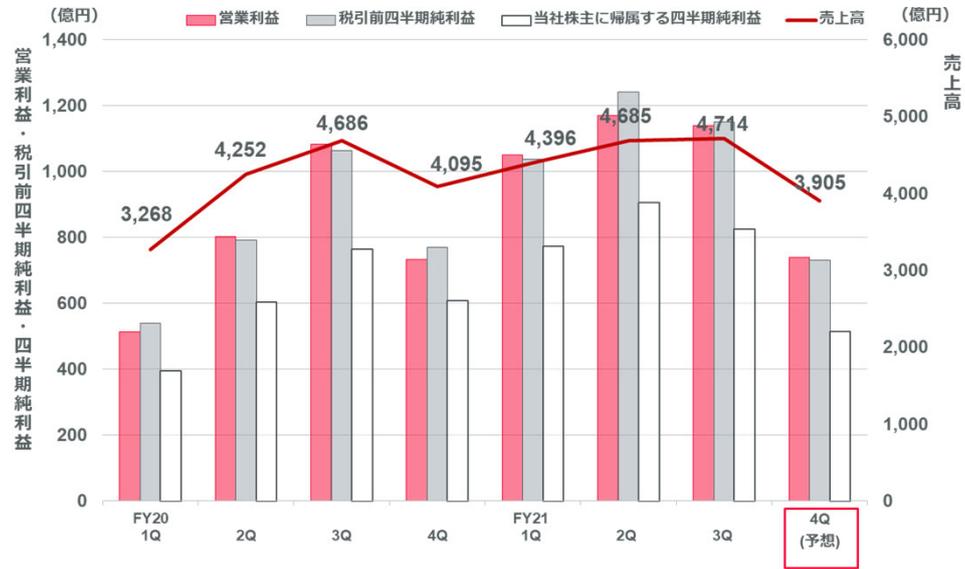
設備投資は、半導体等の部資材の不足や新型コロナウイルス感染症の影響で設備等の納入に遅れが見られることから、前回予想の1,700億円から1,500億円に修正。
主に生産ライン以外の投資が減少。生産能力増強計画に変更はない。

設備投資は7月時予想比200億円下方修正しています。

下方修正の主要因は、生産ライン外投資がサプライチェーン上の制約等で納入時期が来期にずれ込むものが出てきているためです。

但し、生産ライン投資は計画どおり進めており、生産能力増強計画には変更はないと考えています。

業績推移 (四半期)



配当

- 2021年度（2022年3月期）の配当（予定）
1株当たり年間125円
（中間配当60円／期末配当65円）
※年間配当を前年度比10円増配

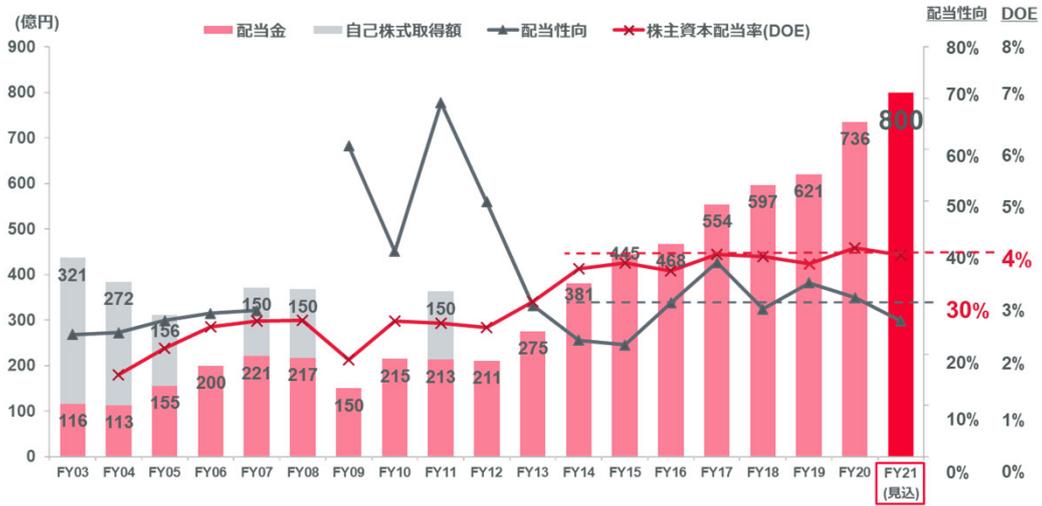
- 2020年度（2021年3月期）の配当
1株当たり年間115円
（中間配当55円／期末配当60円）

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります

業績予想を上方修正することに伴い、年間配当を期末配当を5円の増配とし、前年度比10円の増配を計画しています。

株主還元推移

- 配当 配当の安定的な増加を基本方針としており、
中期的に配当性向30%程度を目安にDOE4%以上を実現
- 自己株式取得 株主還元の手段として、資本効率の改善を目的に適時実施

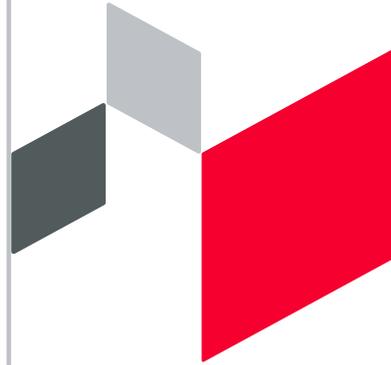


Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

28

配当の方針は、従来のおり、配当性向30%、DOE4%を継続的に実現していくことを目指しています。

トピックス



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

気候変動に対する取り組み状況

- **温室効果ガス削減目標でSBT認定を取得**
 - Scope1+Scope2 : 2030年度 46%削減 (1.5℃水準)
 - Scope3 : 2030年度 27.5%削減 (WB2.0℃水準) (*) いずれも2019年度比
- **CDP Climate において最高評価である「Aリスト」に選定**
 - Climate (気候変動対策) において、目標設定、取り組み、情報開示の点で世界を先導している企業として評価
- **フィリピン工場にて100%再生可能エネルギー利用**
 - 当社グループ海外拠点初、2022年1月1日より使用電力の全てを再生可能エネルギーへ転換



環境関連のトピックスです。

1つ目に、2022年1月後半に温室効果ガス目標でSBT認定を取得しました。Scope1、Scope2にプラスして、Scope3の2030年度の削減目標も開示しています。

2つ目に、CDP ClimateにおいてAリストに選定されました。昨今の目標設定や取り組み、TCFD等の情報開示を評価されたものと考えています。

3つ目に、フィリピン工場を100%再生可能エネルギー利用の工場へ転換するという取り組みを打ち出しています。

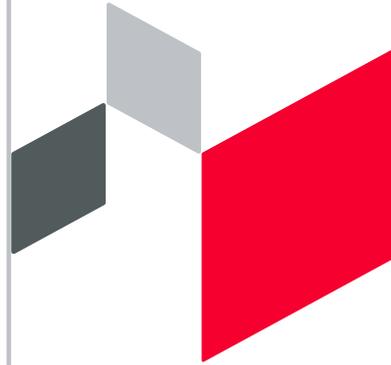
当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you



補足



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

補足

財務データ(1/3)

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



(億円)

	2018年度		2019年度				2020年度				2021年度		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686	4,095	4,396	4,685	4,714
営業利益	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084	733	1,051	1,170	1,139
税引前四半期純利益	797	449	632	616	780	513	539	792	1,063	769	1,037	1,241	1,150
当社株主に帰属する 四半期純利益	601	385	468	439	561	362	396	603	765	607	772	906	826
設備投資	727	624	529	620	814	854	402	438	489	639	426	321	334
減価償却費	323	347	336	346	357	364	340	359	357	375	373	387	396
研究開発費	251	262	261	253	247	264	248	262	244	263	270	272	282
対ドルレート(円)	112.90	110.21	109.90	107.35	108.76	108.97	107.62	106.22	104.51	105.90	109.49	110.11	113.71

補足

財務データ(2/3)



 INNOVATOR IN ELECTRONICS

(億円)

	2018年度		2019年度				2020年度				2021年度			
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
製品別売上高	コンデンサ	1,583	1,423	1,377	1,378	1,457	1,382	1,345	1,561	1,673	1,687	1,893	2,024	2,006
	圧電製品	321	300	314	319	336	323	264	344	320	366	388	376	334
	その他コンポーネント	992	909	924	986	928	792	774	1,013	1,070	1,020	1,109	1,210	1,212
	コンポーネント計	2,896	2,632	2,615	2,683	2,722	2,498	2,382	2,918	3,062	3,072	3,390	3,609	3,553
	モジュール	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618	1,016	999	1,069	1,152
売上高計	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	4,388	4,678	4,705	
用途別売上高	AV	175	150	169	177	148	116	154	207	184	173	190	206	166
	通信	2,133	1,546	1,639	2,121	2,261	1,900	1,592	2,221	2,477	1,759	1,857	2,071	2,104
	コンピュータ及び関連機器	680	595	586	606	581	532	680	713	745	777	897	931	925
	カーエレクトロニクス	660	685	668	661	662	644	428	664	800	839	827	821	803
	家電・その他	619	606	506	460	439	426	407	440	473	540	618	649	708
売上高計	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	4,388	4,678	4,705	
地域別売上高	南北アメリカ	751	456	472	579	458	387	286	487	552	380	456	586	529
	ヨーロッパ	332	415	361	317	304	338	212	318	350	383	404	403	407
	中華圏	2,161	1,657	1,727	2,081	2,372	1,921	1,988	2,441	2,764	2,318	2,450	2,569	2,631
	アジア・その他	642	684	630	696	608	646	487	677	628	629	684	694	706
	海外計	3,886	3,212	3,190	3,673	3,743	3,293	2,972	3,923	4,295	3,710	3,994	4,252	4,273
日本	380	369	378	353	349	326	289	322	385	378	394	426	432	
売上高計	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	4,388	4,678	4,705	

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

35

補足

財務データ(3/3)

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

(億円)

		2018年度		2019年度				2020年度				2021年度		
		3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
コンポーネント	売上高	2,982	2,676	2,717	2,788	2,852	2,625	2,456	3,008	3,150	3,140	3,461	3,701	3,639
	事業利益	849	772	675	501	689	631	589	792	914	835	1,120	1,217	1,199
モジュール	売上高	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618	1,016	999	1,069	1,152
	事業利益	140	▲159	79	179	219	17	69	148	329	▲4	85	110	113
その他	売上高	208	236	169	154	140	129	144	168	151	147	156	155	148
	事業利益	22	21	15	16	12	15	19	20	19	19	20	20	16
消去又は本社部門	売上高	▲285	▲272	▲264	▲251	▲260	▲247	▲211	▲252	▲233	▲208	▲220	▲239	▲226
	本社部門費	▲155	▲216	▲143	▲108	▲125	▲139	▲164	▲159	▲179	▲117	▲175	▲176	▲189
連結	売上高	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686	4,095	4,396	4,685	4,714
	営業利益	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084	733	1,051	1,170	1,139



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS